

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	補装具給付事業		コード	福祉事務所障害者福祉係
			02-01-03-20	担当者 江見清人
事業実施期間	平成17年4月1日～平成18年3月31日		電話	内線183
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	障害者（児）福祉		
	施策	生活環境の整備		

事業について	
目的	身体障害者の職業その他日常生活の向上を図り、その福祉の推進に資する。
対象 (誰のために)	身体障害者手帳の所持者で補装具の給付が必要であると認められる者
内容	身体障害者福祉法の規定による補装具の給付。世帯全員の所得に応じて自己負担あり。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
補装具交付件数	433 件		
補装具修理件数	23 件		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	8,949	国庫補助金等	4,262	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,944	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	10,893	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.31	人		人
------	------	---	--	---

結果指標①	結果指標名	補装具給付・修理件数	
	結果指標量	456	
	単位	件	
	対前年比	—	

結果指標②	事業費	10,893,000	円		円
	単当たりコスト①	23,888	円		円
	結果指標名	補装具給付・修理件数			
	結果指標量	456			

事業の成果	
成果指標名	補装具給付・修理件数
式又は説明	
17年度	
成果指標量	456
対前年比	—
到達目標値	470
到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：身体障害者福祉法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	障害者のニーズにそった補装具の給付を行っており、自己負担額も妥当である。	B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度	結果指標量① 470	結果指標量②
目標値	成果指標量 470	

改善事項	
評価の視点	改善内容
	改善時期
	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標と成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。